

【プレカンファレンスワークショップ 1】

第 4 回医療系 IR 友の会ミーティング～

実践共有のさらなる発展のために

Fourth meeting of the association for institutional research in medical education ~For the development of good-practice sharing

日 時：8 月 4 日（木）17:00-18:30

会 場：A 会場（群馬大学 昭和キャンパス 医学科 基礎講義棟「基礎中講堂」）

【司会 Moderator】

恒川 幸司（岐阜大学医学部医学科 医学教育 IR 室） Koji Tsunekawa（Gifu University）

【ファシリテーター Facilitators】

中村 真理子（東京慈恵会医科大学 教育センター） Mariko Nakamura（The Jikei University School of Medicine）

岡田 聡志（千葉大学 国際未来教育基幹） Satoshi Okada（Chiba University）

浅田 義和（自治医科大学 医学教育センター） Yoshikazu Asada（Jichi Medical University）

菰田 孝行（東京医科大学 教育 IR センター） Takayuki Komoda（Tokyo Medical University）

柿崎 真沙子（名古屋市立大学大学院医学研究科 医療人育成学分野） Masako Kakizaki（Nagoya City University）

佐藤 麻紀（愛知医科大学 医学部 IR 室） Maki Sato（Aichi Medical University）

椎橋 実智男（埼玉医科大学 IR センター） Michio Shiibashi（Saitama Medical University）

【概要】

2000 年代における機関別の認証評価に引き続き、医療系における分野別評価が 2010 年代から始まった事を受けて、日本の医療系学部、特に医学部では、学部独自の IR 組織が立ち上がるようになった。このような経緯から我々は、2018 年より医学教育における Institutional Research（IR）に関するプレコングレスワークショップを、また 2019 年からは当該ワークショップを「医療系 IR 友の会ミーティング」と称して、各大学の IR 担当者らが医療系の分野別 IR に関する課題を議論してきた。しかしながら、これまでのワークショップは課題が多岐にわたるために総花的で、各議題に関する実践的な取り組みや、IR データを用いたアウトカムに関する発表を共有する機会は少なかった。そこで、2022 年 1 月 23 日に、「第 1 回医療系 IR 友の会実践会」と題し、卒後データに関する課題と優れた取り組みの発表、そして有益な討議をおこなった。また、2022 年 3 月 23 日には「第 2 回医療系 IR 友の会実践会」が行われ、各大学の取り組みや課題について発表があり、積極的な討論が行われた。それらを踏まえて、本ワークショップでは、この実践会の取り組みを充実させるために、実践会の参加者の皆様のニーズを拾い上げ、そして各大学における Good-practice を共有していただくきっかけを得たいと考えている。その中で、この先の実践会の具体的な提案があれば、大いに歓迎する。

* 本ワークショップ実施に向けて、参加者には事前アンケートを行います。

* IR 部門に所属されていなくても、IR に関心のある方の参加を歓迎いたします。

キーワード：Institutional Research、医療系 IR 友の会、IR 実践